

施策分析シート

No1

施策名	学習環境の整備・充実	施策No	03-08	部課名	教育委員会教育施設課
				課長名	高木正人 内線 3320
関連部課名					
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	心身ともに健やかな子どもの育成			

目的	<p>○幼稚園、小中学校等について教育の場としてよりよい環境を整備することで、教育効果を高める。</p> <p>○児童、生徒の安全確保を第一に考え施設を整備する。</p> <p>○教育施設の建替え計画に着手する。</p>
----	--

指標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(28年度)	
①	白鬚西地区教育施設の整備	-	0.00%	20.00%	100%	21年度建設工事完了
②	大規模改修工事(小学校)	8.00%	9.10%	5.70%	100%	実施校数/(基本改修項目×学校数) ※建築後10年経過未満の学校を除く
③	大規模改修工事(中学校)	12.50%	6.30%	9.40%	100%	実施校数/(基本改修項目×学校数) ※建築後10年経過未満の学校を除く
④						
⑤						

現状と課題	<p>○教育施設には、30年以上経過したものも多く経年劣化に伴う外壁、防水等の大規模改修工事を、計画的・効果的に行う必要がある。</p> <p>○白鬚西地区における市街地再開発事業、民間住宅開発によるファミリー世帯の急増による児童、生徒の対応が求められている。</p> <p>○あと10年もすると、区内教育施設も60年を経過し建替え時期を迎える。建替えると法的に既存の面積・規模の校舎がつかれないものや、小規模校の対応について考える必要がある。</p>
-------	--

今後の方向性	<p>○施設の今までの工事履歴、必要性等を考慮し限られた予算で、効率的に大規模修繕を行う。</p> <p>○一時的に児童・生徒の増加する白鬚西地区の教育施設を整備すると共に、生徒等の減少後の施設利用も考慮し、計画を進める。今まで以上に、都市計画課等と連携し、大規模民間住宅開発の動向をつかむ必要がある。</p> <p>○法的に建替えが難しい施設や小規模校への対応を踏まえ、学校の建替え計画や適正配置計画を検討する。</p> <p>○コンクリート診断等を行ない、施設の老朽化等についての現状を把握する。</p>
--------	--

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
B	校舎等の計画的な大規模修繕や建替え、学校の適正配置を進めて良好教育環境の整備・充実を図るために、重要な施策である。

施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
各校補修（小学校）	12-02-02	142,608	132,560	A	学習環境等の整備の一環として、緊急を要する補修等に必要不可欠である。
その他整備費（小学校）	12-02-04	93,428	86,623	C	消防法・建築基準法に基づくもの等、学校の維持管理のために必要である。
大規模整備費（小学校）	12-02-05	289,680	307,399	B	学習環境の整備の一環として学校の改修を行なうため、必要である。
尾久第六小学校校舎増築工事費	12-02-08	10,185	280,760	C	17年度増築、18年度外構工事等完了。
白鬚西地区教育施設整備費	12-02-09	—	—	A	普通教室24学級分の汐入地区において、平成19年には25学級、平成25年には最大41学級分の教室が必要となることから、本事業は計画どおりに進めていかなければならない。
各校補修（中学校）	12-02-10	64,289	58,375	A	学習環境等の整備の一環として、緊急を要する補修等に必要不可欠である。
その他整備費（中学校）	12-02-12	36,351	32,307	B	消防法・建築基準法に基づくもの等、学校の維持管理のために必要である。
大規模整備費（中学校）	12-02-13	176,782	105,110	B	学習環境の整備の一環として学校の改修を行なうため、必要である。
その他整備費（幼稚園）	12-02-14	7,827	7,612	B	消防法・建築基準法に基づくもの等、学校の維持管理のために必要である。
園舎補修・園舎整備	12-02-15	25,130	26,883	B	幼稚園の環境整備の一環として、緊急を要する補修・改修に必要である。
合 計		846,280	1,037,629		